

街のソーシャル美術館「MIZUHO BANK GALLERY」オープンについて ～ ヘラルボニーとの共創 ～

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：坂井 辰史）と株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、株式会社ヘラルボニー（代表取締役：松田 崇弥、以下「ヘラルボニー」）と共創し、知的障がいのあるアーティストの艺术作品を丸の内の建設現場の仮囲いに活用した街のソーシャル美術館「MIZUHO BANK GALLERY」を本日よりオープンします。

ヘラルボニーは、「全日本仮囲いアートミュージアム」(※)を通じ、知的障がいのあるアーティストが描く艺术作品を建設現場の仮囲い等のプロダクトに落とし込み、社会へ提案するイノベティブな取り組みを推進しています。〈みずほ〉は、優れた技術やアイデアによるソーシャルイノベーションを支援しており、ヘラルボニーの取り組みの社会的意義に共鳴し、このたび〈みずほ〉が新社屋を建設している工事現場（丸の内1丁目3番3号）の仮囲いを活用した街のソーシャル美術館を創出することとしました。

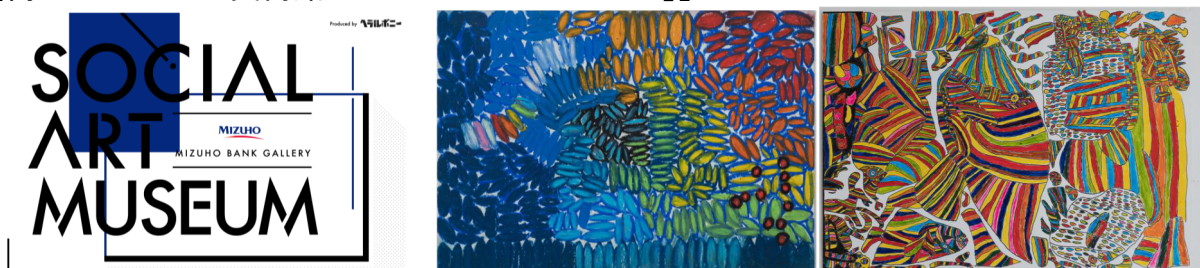
〈みずほ〉とヘラルボニーは、知的障がいのあるアーティストの優れた才能や能力を発掘し、その艺术作品を展示することで、芸術活動の活躍の場を創出するとともに、優れた芸術作品が社会的・経済的にもより評価されることで、アーティスト自身が自立した社会生活を営めるよう支援していきます。

〈みずほ〉は、サステナビリティへの取り組みについて戦略との一体性を高め、5カ年経営計画の行動軸である「オープン&コネク」のもと、外部パートナーとの連携により、イノベーション加速に向けて積極的に取り組み、経済・産業・社会の持続的な発展に貢献していきます。

※「全日本仮囲いアートミュージアム」:

建設・住宅を守る「仮囲い」を、新発見ができる期間限定の「ミュージアム」と捉え直す地域活性型のアート・プロジェクト。

【街のソーシャル美術館「MIZUHO BANK GALLERY」】



以上